

ASAHI INDUSTRIES GROUP

COMPANY PROFILE 2023



朝日工業株式会社

朝日アグリア株式会社

株式会社 上武

朝日ビジネスサポート株式会社



朝日工業グループ会社案内

- 朝日工業【鉄鋼】
- 朝日アグリア【農業】
- 上武【碎石碎砂・マテリアルリサイクル】
- 朝日ビジネスサポート【人材派遣・業務請負】

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-5 Daiwa東池袋ビル

朝日工業株式会社 経営企画部 企画課 TEL 03-3987-4095 メールアドレス ir@asahi-kg.co.jp

資源循環型社会の 未来を照らす光に

私たち朝日工業グループは「鉄鋼」「農業」「砕石砕砂・マテリアルリサイクル」の3つの活動領域で、豊かな資源循環型社会の実現を目指しています。
安心して暮らせる未来のために、資源の探索・活用、再生の技術力をコアコーポレートバリューとして、資源循環のリーディングカンパニーであり続けます。

経営理念

誠実で、公正、公平、誰からも愛される会社であり続けます。
良い製品、良いサービスを提供し、地球環境に貢献し続けます。

CSR 指針

社会への貢献、感謝、恩返しを大切にします。

環境指針

環境負荷低減、地球温暖化防止、ゼロエミッションを通して、環境へ貢献します。

3つの分野+1

私たちの製品は安心して安全に暮らすために、なくてはならないものばかり。
これからもずっと、都市の生活も、地方の暮らしも支える製品をつくり続けます。

農業資材事業
〈朝日アグリア〉

砕石砕砂マテリアルリサイクル事業
〈上武〉

鉄鋼事業
〈朝日工業〉

人材派遣業務請負
〈朝日ビジネスサポート(ABS)〉



鉄鋼事業

朝日工業

生活基盤を支える**強い鉄**を造る。
最適なポートフォリオで攻める。

鉄スクラップを主原料に鉄筋と構造用鋼を製造する電炉メーカーです。

CO₂削減を目指した設備投資や操業改善などにより、カーボンニュートラルに向けた取り組みを進めています。

親会社である合同製鐵と連携し、より高い技術、より強い販売力を目指し、イノベーションとチャレンジを重ねていきます。



▲公式HP▲



鉄鋼製品



異形棒鋼（鉄筋）

マンションやオフィスビル、高速道路や鉄道の橋脚部分などに使用され、私たちの生活基盤を支えています。特に販売を強化しているねじ節鉄筋「ネジエーコン」は、圧接の代わりに機械式継手で鉄筋同士を継ぐことで、工期短縮や天候に左右されずに施工ができるため、ニーズが高まっています。



構造用鋼

構造用鋼は二次加工用の鋼材で、ボルト・ナット・ブレースなどに生まれ変わり、建築・土木、機械など幅広い分野で使用されています。熱処理を行わない普通鋼と、熱処理を行い細かな成分管理により硬度・強度・粘り強さを調整できる特殊鋼の両鋼種を製造しています。

鉄ができるまで

ビルや自動車の解体、様々な工場から発生する鉄スクラップを配合し、それらを素材として鉄鋼製品を造りだしています。



選定・配合

様々な種類の鉄スクラップを製造する製品に合わせて配合



溶解・精錬

電気炉で鉄スクラップをアーク放電により溶解した後、製品の規格に合わせて精錬



鑄造・圧延

連続鑄造設備で鑄造した鋼塊を加熱炉、圧延スタンドで各製品へと成形

How steel products are made



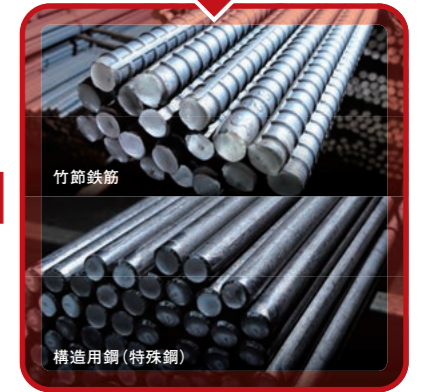
解体・回収

解体された建造物などから回収された鉄スクラップを購入



建築・土木・機械産業へ

建築物や土木建造物など幅広い分野で使用され、人々の暮らしや社会をサポート



冷却・製品化

冷却床で徐々に冷却した製品を切断、結束、検査後に出荷

朝日アグリア

『資源循環型農業』の実現を目指す。
技術を磨き、新たなマーケットを創る。

種子と牧草を扱う日本で唯一の肥料メーカーです。

持続可能な農業を実現するため、国内外の研究機関や国内行政機関などと協力し、未利用資源の有効活用や省力型農業を推進しています。



▲公式HP▲



▲種苗部公式▲

instagram



資源循環型農業へ

堆肥を極める

肥料事業

堆肥を極める

堆肥等未利用資源を活用した有機資材の開発に注力し、独自の粒状化技術と環境に配慮した設備によって、様々な粒状有機肥料を実現しています。国内各地で発生する資源を活用することで地域循環にも貢献。また、堆肥を活用した肥料には、堆肥と肥料ふたつの効果を併せもつ、粒状でまきやすい、お手頃な価格など、多くの魅力があります。さらに、有機液肥や微生物活用資材などをラインナップに加え、食の安心・安全を支えています。



農家用肥料

家庭園芸用肥料

種苗事業

カボチャを極める

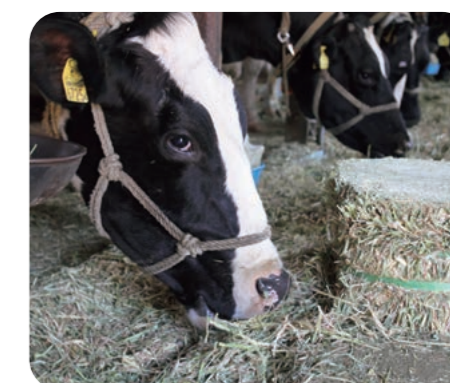
「病気に強い」「たくさん収穫できる」「おいしい」をコンセプトに、カボチャや台木(トマト・メロン)、ブロッコリー、トマトなど様々な品種の開発に取り組んでいます。特に、カボチャはおいしさは勿論のこと、育てやすさ、収穫量、果実の色など、こだわり満載の品種を開発。また、海外へのマーケティングにも力を入れています。肥料メーカーのメリットを活かし、品種の力を最大限に引き出す栽培方法と施肥を提案しています。



牧草事業

オーストラリア草種を極める

オーストラリアの乾牧草加工・輸出会社であるJ.T.ジョンソン&サンズPty.Ltd.の販売代理人として、良質な乾牧草を日本の酪農家・肉牛農家に供給しています。オーストラリアの現地では合弁会社ジョンソン朝日Pty.Ltd.を運営しており、日本の市場動向をタイムリーに反映した供給を実現。また、2022年度には新工場が稼働し、より多様なニーズに応え、安定的に乾牧草を供給できる体制を整えています。



上武

これからも地域のNo.1企業を目指す。
自然の恵みも廃棄物も大切な資源として活かす。



▲公式HP▲



▲公式HP▲

朝日ビジネスサポート

朝日工業グループを縁の下で支える。
多様な人材活用のプロフェッショナルでありたい。



砕石砕砂事業

埼玉県(皆野町・神川町)に130万㎡の広大な良質硬砂岩砵区を保有しています。ここで採掘された原石はコンクリートやアスファルトの原料として、ビル、橋、道路などの建設に使用されています。良質な砕石・砕砂を提供することによって、インフラ整備に貢献しています。



コンクリート用砕石



コンクリート用砕砂



道路用砕石

3か所の製品出荷場は各方面のニーズに対応しています。



神川出荷場(群馬方面へ)

所沢出荷場(首都圏へ)



和光出荷場(首都圏へ)

マテリアルリサイクル事業

建物の解体から発生するコンクリートくずを再生路盤材に、家屋の解体や樹木の伐採から出る木くずを木くずチップとして再生させることで、廃棄物の削減、資源循環型社会の構築に貢献しています。



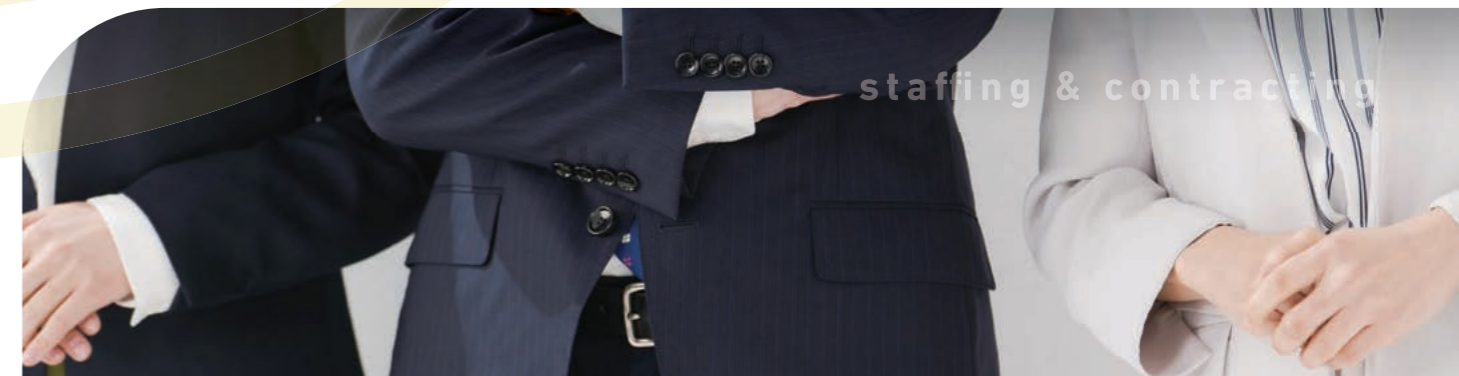
木くずチップ



再生路盤材

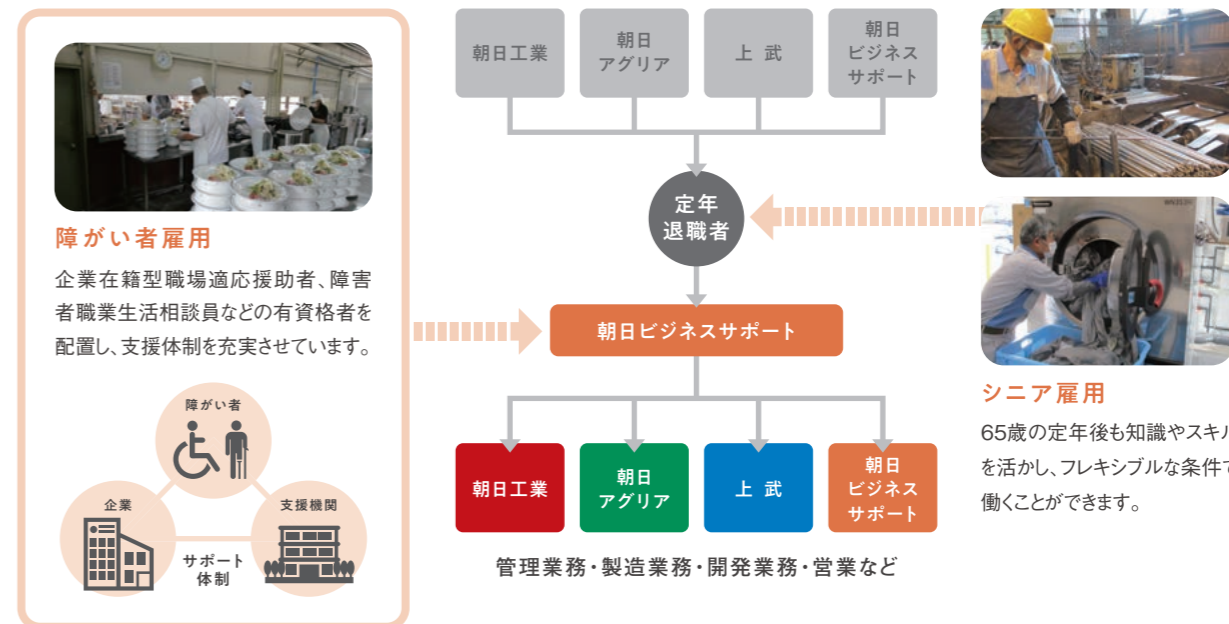


がれき処理施設



障がい者・シニア雇用

朝日工業グループの障がい者※・シニア雇用の窓口となっています。個々の特性を考慮して、勤務時間や出勤日数、業務内容を決定しているため、柔軟な就労が可能です。 ※障がい者雇用:企業グループ算定特例(関係子会社特例)制度の適用



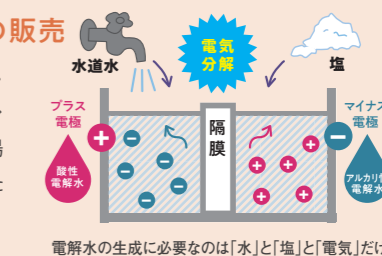
グループ内事業

福利厚生施設(社宅や売店、社員食堂など)の管理・運営、グループ各社の管理業務・製造補助など、多岐にわたるサポート業務でグループを支えています。



電解水生成装置の販売

電解水には洗浄・除菌・消臭効果があるので、様々な施設の衛生管理、職場環境の改善にご利用いただけます。



Sustainability サステナビリティ

私たちの日々の活動が持続可能な社会の実現につながる。

朝日工業グループは、SDGsを持続可能な社会実現のための世界共通課題として認識し、
"地球環境や地域社会への貢献を大切に、みなさまから愛され続ける企業"でありたいという思いのもと活動しています。

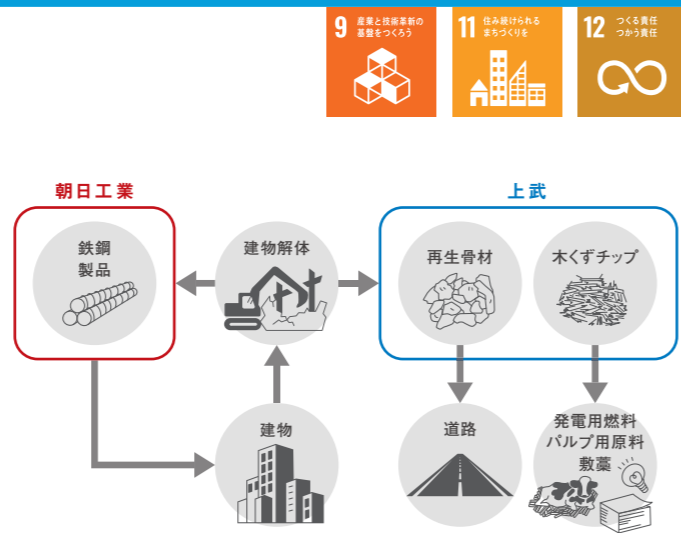
環境への貢献

環境と真摯に向き合うことが私たちのプライドです。

3か年の中期環境行動計画に基づき、積極的に温暖化防止・環境負荷低減・ゼロエミッションなどに取り組み、
環境改善に寄与する製品の研究開発にも力を注いでいます。

持続可能な資源活用 インフラ整備に寄与

私たちのものづくりはリサイクルです。橋や建物、自動車の解体などにより生じる鉄スクラップを強固な鉄筋に、建物の解体で発生するがれき類や木くずなどを再生骨材や木くずチップなどに再生しています。これにより、廃棄物削減および資源循環に貢献しています。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

持続可能な農業を推進

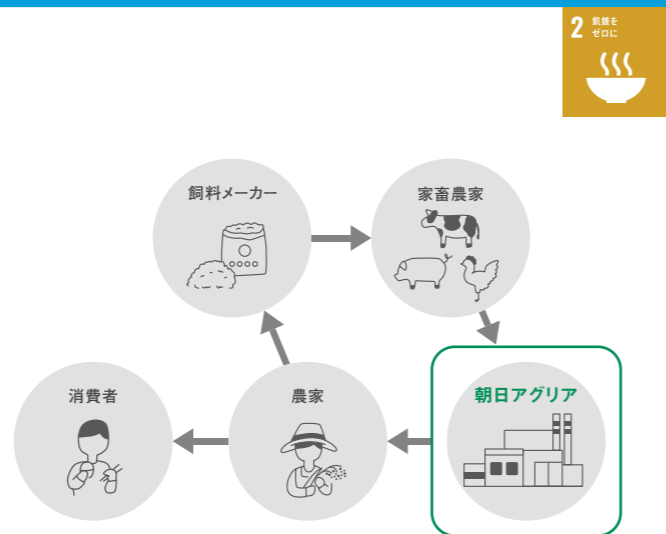
家畜ふん、食品・飲料工場の排水(汚泥)など廃棄されるものを肥料原料として活用し、資源循環を実現しています。
また、大学など試験研究機関との共同研究開発にも力を注いでおり、微生物資材などの開発を通じて環境にも人にも優しい農業に寄与しています。

汚泥の活用

食品工場などの排水処理過程で発生

大豆による試験

共同微生物資材研究



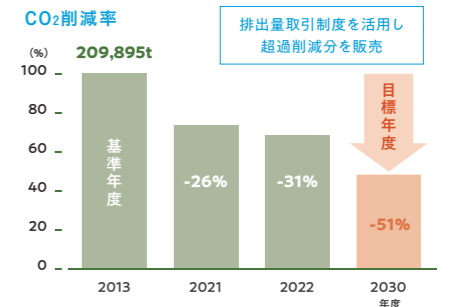
2 気候をゼロに

気候変動対応 水質改善・河川海洋の生態系保全

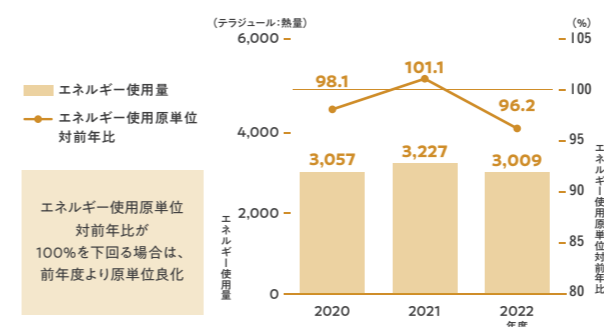
2050年カーボンニュートラルを目指し、通過点である2030年度には2013年度比51%以上のCO₂削減目標を設定しています。
また、排ガス・排水には法令で定められている基準値より厳しい自主管理目標を設定し、環境負荷低減にも力を注いでいます。

カーボンニュートラルへのアプローチ

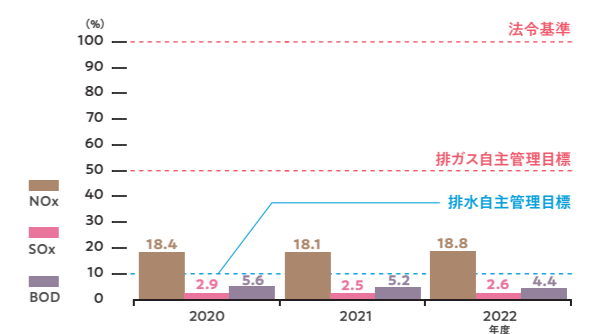
	2030	2040	2050
目標	CO ₂ 排出量削減 △51%以上	2050年カーボンニュートラル	
計画	製造設備更新・新設備導入等による生産性向上・燃料削減 電灯や空調電力の削減、ハイブリッド車の導入及びエコドライブの推進 太陽光発電や電気・水素自動車など再生可能エネルギーの導入検討 CO ₂ 回収・貯留技術、再生可能エネルギーについて導入可能な対応検討及び実施		



エネルギー使用量の推移



NOx, SOx (ばい煙発生施設排ガス)、BOD (工場排水) の推移



持続可能な森林経営と生物多様性保全

豊かな自然に恵まれた各工場では、生物多様性に留意した緑地の整備、近隣の水辺や公園、道路などの清掃・緑地保全を行い、生物の種・生態系の保護に努めています。また、ヒノキや杉が生息する約40ヘクタールの社有林(群馬県)の保全・育成を通じて、CO₂の吸収を促し温暖化防止に寄与するとともに、動植物の生態系保護に貢献しています。



15 陸の豊かさも守ろう

地域社会とともに

地域のみなさまとともに歩む企業でありたい。

私たちは、地域のみなさまのご理解と応援に支えられ、長い歴史を刻んできました。地域の一員であることを強く意識し、みなさまとともに発展したいとの思いのもと、将来を担う子どもたちを応援するプログラムや住みやすいまちづくりのための清掃ボランティアなど、地域貢献活動を積極的に推進しています。

子どもたちを応援

朝日神川ギャラリー（埼玉事業所外壁）に展示する大キャンパスの絵画作成、職業体験などを通じて、学校とは違う学びの機会を提供しています。



朝日神川ギャラリー



工場見学会



社会体験



トマト栽培教室



小学生柔道大会協賛

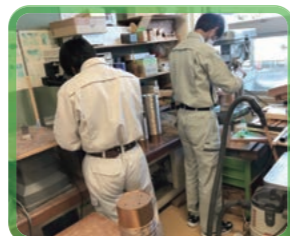
写真提供：一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会



写真ニュース寄贈

地域の一員として

道路・水辺・公園などの清掃ボランティア、障がい者施設との事業協力や社会福祉協議会への食料寄付などを通じて、地域の自然環境や生活環境の向上に貢献しています。



障がい者施設とともに



彩の国ロードサポート



自衛消防隊



清掃ボランティア



フラワーガーデンの維持・管理



食材の提供

安心して働ける環境

従業員が生き生きと働ける職場から、優れた製品・良いサービスが生まれる。

企業価値向上のため、利益拡大とコンプライアンスを両立させたガバナンスの効いたマネジメントを目指すとともに、全ての従業員に活躍の機会が与えられる職場環境の整備に努めています。

誰もが活躍できる体制

国籍、性別、年齢、障がいの有無、キャリアや経験、働き方など多様なバックグラウンドの人々が誇りをもって働くことができる職場であることが、私たちの基本です。誰もが活躍できる雇用環境の整備を行うため、全社員が育児・介護休暇に関する諸制度を活用できる体制を整え、機会の平等、スキルアッププログラム、適切な処遇、バックアップ体制などを強化し、さらに働きやすい企業を目指しています。



牧草事業における現地（海外）での品質確認・情報交換、各工場での安全パトロールなど、女性が活躍できる職域を拡大中



ワークライフバランス

電子化の推進、リモート会議システムやチャットツールの活用により、非効率な作業や移動に割いていた多くの時間を新たなタスクや個人の時間に充てることが可能になり、従業員のステップアップやゆとりに寄与しています。今後もDXやAIを活用しさらなる深化を模索するとともに、業務改革が困難な職場にも広げていき、ワークライフバランスの充実につなげることを目標としています。



ペーパーレス会議



リモート会議



健康経営優良法人

健康管理を経営的視点で捉え、健康増進体制を整え、健康保持・増進を促進することにより、職場の活性化および生産性向上につなげていきます。2021年度から、健康経営優良法人に認定されています。



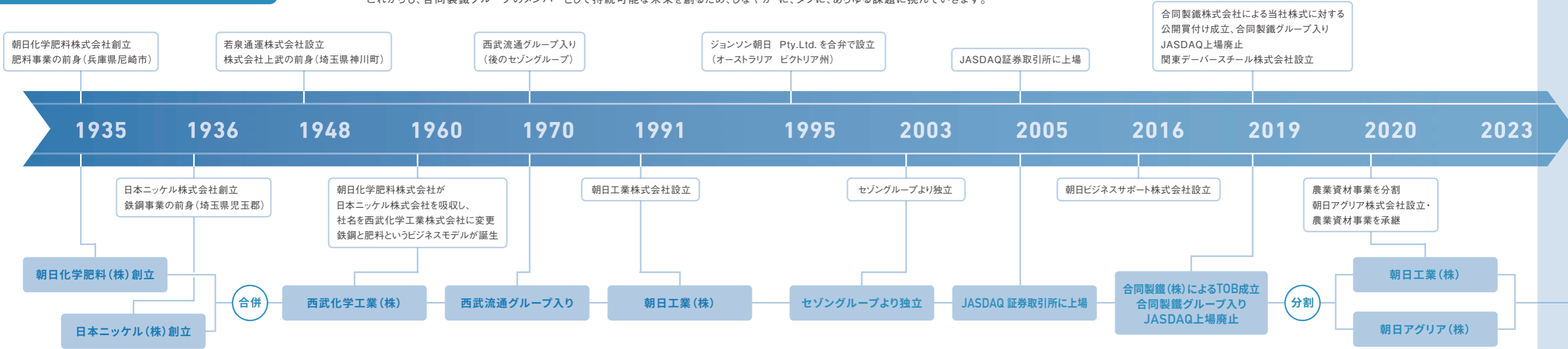
多様な働き方実践企業

埼玉県から、仕事と家庭の両立支援や女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる働き方実践企業として、最上位のプラチナ企業に認定されています。

HISTORY

沿革

事業環境が大きく変化しても、私たちは、85年を超える歴史の中で培われた品質へのこだわりと地球環境重視の姿勢を今日まで貫いてきました。これからも、合同製鐵グループのメンバーとして持続可能な未来を創るため、しなやかに、タフに、あらゆる課題に挑んでいきます。



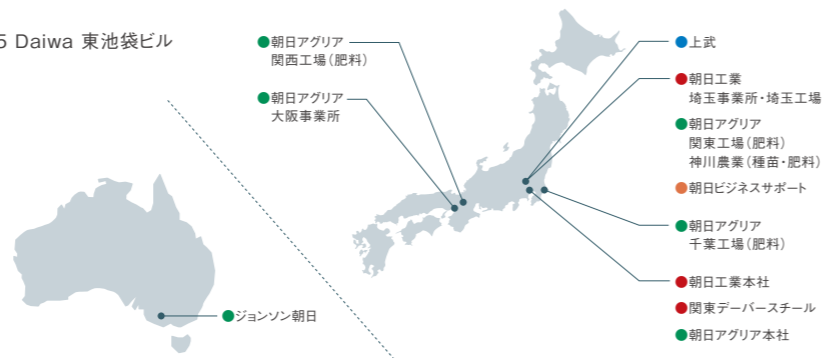
COMPANY OVERVIEW

会社概要

会社情報

商号 **朝日工業株式会社**
 本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-5 Daiwa 東池袋ビル
 TEL 03-3987-2161
 URL <https://www.asahi-kg.co.jp>
 創立 1935年8月16日
 設立 1991年10月29日
 親会社 合同製鐵株式会社
 資本金 2,190百万円
 従業員数 254名
 主要事業 鉄鋼事業：異形棒鋼（ねじ筋鉄筋を含む）、構造用鋼の製造・販売

(2023年4月1日現在)



事業所・工場

埼玉事業所・埼玉工場

〒367-0301 埼玉県児玉郡神川町渡瀬222
 TEL 0274-52-2711 (埼玉事業所)
 0274-52-2713 (埼玉工場)



関連会社

関東デーンバースチール株式会社 (朝日工業40%出資)

主要事業：棒鋼及びこれに付随する加工品並びに付帯商品の販売に関する仲介業他
 従業員：49名
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1 丸の内中央ビル10階
 TEL 03-6267-0030

子会社3社

1. 朝日アグリア株式会社 (朝日工業100%出資)

主要事業：肥料の製造・販売、野菜品種の開発、種の生産・販売、オーストラリア産乾牧草の輸出・販売
 従業員数：186名
 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-5 Daiwa 東池袋ビル
 TEL 03-3987-2163
 URL <https://www.asahi-agria.co.jp>

2. 株式会社上武 (朝日工業100%出資)

主要事業：砕石砕砂の製造・販売、建設廃材等の中間処理、再生骨材・木くずチップの製造・販売
 従業員数：47名
 〒369-1601 埼玉県秩父郡皆野町大字金沢3085-1
 TEL 0494-62-1321
 URL <https://www.jobu-sg.co.jp>

3. 朝日ビジネスサポート株式会社 (朝日工業100%出資)

主要事業：人材派遣・業務請負
 従業員数：17名
 〒367-0301 埼玉県児玉郡神川町渡瀬222
 TEL 0274-52-6411
 URL <https://www.asahi-kg.co.jp/abs>

関連会社

ジョンソン朝日 Pty.Ltd. (朝日アグリア持分法適用関連会社)

主要事業：乾牧草の生産・輸出
 119 Plumpton Road Horsham VIC 3400 Australia

事業所・工場・農場

関東工場 (肥料工場)

〒367-0301
 埼玉県児玉郡神川町渡瀬222
 TEL 0274-52-2712



神川農場 (肥料・種苗研究農場)

〒367-0232
 埼玉県児玉郡神川町
 大字新里字東北原 863-2



千葉工場 (肥料工場)

〒289-0506
 千葉県旭市さくら台1-13
 TEL 0479-68-1600



関西工場 (肥料工場)

〒528-0005
 滋賀県甲賀市水口町水口 6776
 TEL 0748-62-8171



大阪事業所

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満1-2-5 大阪JAビル12階
 TEL 06-6311-6215